

# 総務常任委員会報告書

令和 4 年 2 月 21 日

委員長 清原 哲史

総務常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けた事項について、調査の概要を報告します。調査に際し、1月26日に総務部長及び関係各課に出席を求め、委員会を開催しました。

## 【デジタル推進課】

＜報告事項＞AIチャットボットの状況(4月～12月)、スマホ教室について報告がありました。

例年4月に報告している公衆無線LANの利用状況について、資料作成委託料約65,000円に見合う効果が見当たらないため、今後、資料は作成しないとの報告がありました。

＜質疑及び回答＞AIチャットボットについて、質問総数は月によって大きな変動があるが、質問の傾向はとの問いに、7月と8月が大きく増えているのは新型コロナの予防接種が始まり、予約サイトにつながらないとか体調が悪いときにどうしたらいいかなどの問い合わせが増えたためとのこと。導入効果はとの問いに、問い合わせの半数を占める市役所閉庁時間帯に効果が出ていると分析しているとのこと。現状の対象業務と今後の検討はとの問いに、開始した当初は、4つか5つの分野が対象だったが、新型コロナの問合せが多かったことから、急遽、新型コロナ関係の質問を追加した。メーカーが準備しているQ&Aについてはほぼ準備できている。十分に答えられなかったものについて、適時追加して充実を図っているとのこと。

これまでに機器の障害やシステム障害など重大なトラブルはなかったかとの問いに、細かなネットワークトラブルはあるが、市民等の利用に支障が出るような重大な障害は発生していないとのこと。

## 【財政課】

＜報告事項＞個別補助金の審査について、11月9日に3件、11月22日に5件の審査を行ったとの報告がありました。

＜質疑及び回答＞補助金審査委員から指摘事項や見直しについて言及があったかとの問いに、まだ答申は完成していないが、継続が4件、見直しが4件となっており、見直し分については公益性や必要性は十分認めるが、制度の周知を徹底するようとの意見が多く出たとのこと。

財政状況について、新型コロナによる税収への影響や今後の見通しはとの問いに、来年度の当初予算の税収は、上がる見込みで計上しているとのこと。

## 【管財課】

＜報告事項＞入札結果(令和3年10月～12月)、古賀市入札監視委員会の答申、公共施設等総合管理計画第1期アクションプラン、電子入札システムの導入について報告がありました。

＜質疑及び回答＞入札監視委員会の答申にある「書類不備等での無効札を減じるための工夫を行っている」とはどのような工夫かとの問いに、誤字による無効への対応として、あらかじめ入札書の様式に正しい件名などを入れて送付し、事業者が誤りにくい工夫を行ったとのこと。

公共施設等総合管理計画第1期アクションプランについて、原案と成案に違いがあるがとの問いに、公共施設マネジメント推進本部で最終的な内容の検討をしていく中で内容が変わらな

い程度に若干の文言修正等を行った。40年間の試算結果の数字は、アクションプランを策定するにあたり、公共施設等総合管理計画自体も更新作業を行う中で、若干変更になった金額等をアクションプランに反映した。「施設の方向性と取組み」は、今後10年間の方向性というところで「建物」と「機能」に分けての表記が伝わりにくく、誤解を招きやすいところがあったため「建物」と「機能」についての説明が必要ではないかとの観点から新しく追記したとのこと。

アクションプランと施設カルテとでは判定が違うという指摘があったが、個々の施設の状況を把握しつつ全体の考え方をまとめたものが公共施設等総合管理計画だと思われ、その根拠になるものが施設カルテだと思われとの問いに、施設カルテは総合管理計画の大まかな目標値2割削減を定めるための根拠データである。施設カルテによって施設の方向性を定めたものではないと認識しており、また、総合管理計画は全体像をまとめたものであって、各個別の施設について何かを決定したというものではないとのこと。

課長級で構成する公共施設マネジメント推進委員会の記録がないがとの問いに、各個別の施設について検討する場合は、その施設の所管以外の部署にとっては時間的に無駄になると思う。まずは公共施設マネジメント推進本部において部長級以上のメンバーが参加し、そこから情報を伝達してもらい、懸案等があれば各担当部署と個別の協議を行なう手順を取った。よって課長級全員を集めての開催は行ってないとのこと。

第1期アクションプランの案を決めるまでの公共施設マネジメント推進本部の会議の記録がないがとの問いに、平成31年度に4回、令和2年度に4回、令和3年度に4回開催しているとのこと。

市民体育館、千鳥苑は利用頻度が高いので存続させていくべきではとの問いに、利用頻度が高い施設においては、建物自体はなくなり、移転等を伴うことがあっても、行われていた事業というものは基本的には継続されることになるとのこと。

### 【まちづくり推進課】

＜報告事項＞まちづくり出前講座、地域コミュニティ研修会、つながりひろば活動状況、古賀市まちづくり基本条例検証委員会、日本郵便(株)との包括連携協定締結、校区コミュニティに関する取組、多文化共生事業、国際交流事業について報告がありました。

＜質疑及び回答＞ベトナム人技能実習生向け講習はベトナム人が対象だが、ほかの外国人に対する対応はとの問いに、国籍は限定せずに、交流型日本語教室を実施しており、その中で正しい情報を伝える機会もつくっているとのこと。

### 【人事秘書課】

＜報告事項＞職員採用試験、職員の労務管理、保育士、幼稚園教諭等の処遇改善について報告がありました。

＜質疑及び回答＞病気休職が増えているが、精神的な疾患によるものはどのくらいかとの問いに、今回は病気休職2名とも精神疾患による休職とのこと。

緊急短期雇用創出事業を行う考えはとの問いに、令和3年度は緊急短期雇用創出事業を古賀市も実施しているとのこと。

国はデジタル改革関連法案を成立させた。古賀市でもIT関連の人材が必要と思うが、採用計画または方針はあるかとの問いに、今のところ、内部職員でITに詳しい、経験を持った職員を配置していきたいとのこと。

保育士等への収入引き上げは良い制度だが、正しく収入の引き上げが反映されたとの確認はできるのかとの問いに、対象施設に働く職員を対象に、実際の手取り収入分に対して3%を増

やすことを担保するものとなっており、実際に事業計画及び実績報告の中で 3%の収入が増えたという証明や手続を取ることで補助対象になるとのこと。

### 【総務課】

＜報告事項＞第 49 回衆議院議員総選挙投票状況の報告、古賀市長選挙の日程、消防団関連、防災関連、新型コロナウイルス感染症対策本部会議について報告がありました。

＜質疑及び回答＞総合防災マップに関して、3月13日に開催予定の花見校区のコミュニティ防災訓練に間に合わせるべきではとの問いに、現在、印刷製本の契約待ちの状態、3月下旬に全ての家庭に配布する。よって3月13日の防災訓練には間に合わないとのこと。

1月22日深夜の地震について、あの時間に携帯電話と併せ、防災無線での放送が隣接している福津市からどんどん入ってきたが、古賀市の対応はどのようになっているかとの問いに、震度4以上が予想される緊急地震速報が流れた場合は、防災行政無線が鳴ることになっており、今回も防災行政無線は流れているとのこと。

衆議院議員総選挙は、期日前投票が減少し当日投票が増えた状況だが、18時以降20時まで投票ができるようになったのが要因かとの問いに、コロナ禍の選挙で外出自粛や密集を避ける傾向があったのではないかと、特にサンリブでの期日前投票者が減ったとのこと。なお、投票時間の閉鎖時刻が20時に変更になるため、様々な方法で周知を行ったとのこと。

今回から投票所の閉鎖時刻を18時から20時へ延ばした結果、950人が投票し、投票の権利を行使できたことは良かった。一方で開票所の事務負担は大変だろうと思うがどう評価されたかとの問いに、前は23時に終わっていたものが今回は24時前に終わった。今後の状況を見ながら事務従事の負担については考えていく必要があるとのこと。

### 【経営戦略課】

＜報告事項＞市公式ホームページ、バナー広告・広報紙広告、市民からの相談、無料法律相談、おくやみ案内、公共交通、シティプロモーション推進事業、インキュベーション促進事業、第5次古賀市総合計画策定事務について報告がありました。

コガバスについて、現在古賀タクシーに委託し運行しているが、今年度末をもって3か年の契約が満了する。これに伴い市内のタクシー事業者2社に見積もりを徴した結果、花鶴タクシーが安価だったため、来年度の運行に向けて事業者を変更する手続を進めている。

交通ネットワークの再編の検討では、現在薦野系統筵内経由と小竹系統の再編を視野に入れているが、新型コロナの影響等があり、地元協議が進んでいない状況のため、これに関連する委託費を令和4年度に繰り越す予定としているとの報告がありました。

＜質疑及び回答＞新年度に向けて西鉄バス古賀市内線のダイヤや路線などの検討はされているかとの問いに、ダイヤ改正は多少あるが、減便や増便の予定はない。路線については、見直し検討を行う予定であったが、地域との協議ができていないため、翌年度に持ち越して検討したいとのこと。西鉄バス古賀市内線薦野系統筵内経由と小竹系統に関して、令和4年度は何を検討するかとの問いに、薦野系統は筵内経由と青柳四ツ角経由で便数にかなり差がある状況で、例えば古賀駅に到着する時間で考えると、筵内経由の方が少し早い便数が少ないため利用者のことを考えて、筵内経由の便数を調整することと、ルートについても福岡東医療センターに行けるように検討をしている状況とのこと。

AI オンデマンドバスの委託先はとの問いに、市内にあるタクシー事業者2社で想定しているとのこと。ミーティングポイントについて、買い物は大きな課題にも関わらず、ドラッグストアコスモスの名前しかないがなぜか、また、古賀駅は西口と東口とでは随分違うと思うがとの

問いに、買い物について、サンリブはタクシーの乗降場所があり現にかなり利用されているため、タクシー事業者との協議の中で、ミーティングポイントを置くことは厳しいとなった。また、想定していた古賀駅から花鶴丘、日吉台までにおいて、古賀中央病院やドラッグストアコスモスは途中にあるが、途中ではない反対側の方向にエリアを広げると、想定していたコストに収まらないため、このエリア外のミーティングポイントで途中ではないところは案として見送っている。市が想定している予算の中で、設置できる場所、地域協議会の中で出てきた意見等もふまえて今の案をつくっているが、再度、タクシー事業者と協議し、整ったら案を確定していくとのこと。エリア外のミーティングポイントが6か所しかないが、例えば福岡東医療センターに通院している方はそこまで行きたいと思うので、地域住民から意見を聞いてエリア外のミーティングポイントを決めていくべきではとの問いに、市内のタクシー事業者と競合するような運行によりタクシー事業者の利用者が減ってしまい、結果、タクシー事業を縮小せざるを得ない事態が起こると、市民全体にとっていざというときにタクシーが使えないということが起こりかねず、悩ましいところだとのこと。

インキュベーション促進事業について、現在の状況の具体的な説明をとの問いに、1期分の工事は6月末に終わり、その後運営事業者を選定し、実際の運営を10月30日から開始した。現在入居は2社であるが、首都圏などの企業とオンラインを活用し商談を行っている。今現在25社と商談しており、実際古賀市に来て現地を見て検討したいという話もある。商談をしている事業者の業種はIT関連の事業者が多い。2期分の工事は、お風呂がある建物の1階と3階をリノベーションしているところで、3月中旬までには工事を終える予定とのこと。25社ほど引き合いが来ているとのことだが、まだ4室ほど空いている。埋まる自信はあるのかとの問いに、残り4室だけではなく、2期工事分でオフィスが増えるため、その分も埋める前提で取り組んでいきたいとのこと。場所が薬王寺で交通が不便な場所だが、企業との商談の中で交通アクセスについて課題があったかとの問いに、どうやって行ったらいいかとの問い合わせがあるが、今のところ、解決策は具体的なものがない。今後、運営事業者などと協議しながら良い方法を探っていきたいとのこと。

委託事業者(株)あわえについて、12月の収入が4万9,000円だが、9万8,000円ではないのかとの問いに、家賃補助の予算を計上しており、(株)あわえも家賃補助の対象になるが、委託先ということで委託料も補助金も支払う形になるため、補助金相当分は減額した家賃とすることを市と運営事業者(株)SALTと委託事業者(株)あわえの3者の協議で決めている。もう1社の(株)ネスピアについても補助金の対象になるため、所定の家賃をいただいた後に補助金として半額を市から交付することで進めている。家賃補助は何年間あるのかとの問いに、補助金は単年度ごとで、一旦今年度までを予算計上しており、次年度以降は検討中である。要綱上では3か年を上限とするとなっており、毎年予算の範囲で最長3か年の補助を行うというたてつけになっているとのこと。

第5次総合計画策定業務委託の契約変更について、当初予定していた基本構想の印刷業務94万6,000円を削除し、新たに別会社へ214万5,000円でデザイン・印刷を委託する形になっているが、どのような理由で変更されたのか、選定は一般競争入札かとの問いに、議会からも読みやすく、読みたくなるようなものをとの意見があり、新たなイメージの仕様を当初の委託受注者に話したところ、対応できないとの回答であったため、公募型のプロポーザル方式で数社から見積りを取り選定しているとのこと。

以上で、議会閉会中の所管事務調査報告を終わります。